

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成21年9月10日 (2009.9.10)

【公開番号】特開2006-19932(P2006-19932A)

【公開日】平成18年1月19日 (2006.1.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-003

【出願番号】特願2004-194297(P2004-194297)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/225 E

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月24日 (2009.7.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像装置に装着される処理装置であって、

前記撮像装置で行われる複数の処理に対応した機能を実現するための複数の構成に変更可能な論理回路と、

前記論理回路が実現可能な構成を示す構成情報を記憶するメモリと、

前記撮像装置で取得された画像データを記憶する記憶部と、

前記メモリに記憶された構成情報に基づいて、前記撮像装置が前記複数の処理を実行せずに前記論理回路が前記複数の処理を実行するように前記論理回路の構成を変える制御部とを備え、

前記制御部は、前記撮像装置が R A W 画像処理を行わずに前記論理回路が前記 R A W 画像処理を行うように、前記論理回路の構成を前記 R A W 画像処理のための第 1 の構成に変え、前記第 1 の構成の論理回路による前記 R A W 画像処理が終了すると、前記撮像装置が圧縮処理を行わずに前記論理回路が前記 R A W 画像処理された画像データの圧縮処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第 1 の構成から前記圧縮処理のための第 2 の構成に変えることを特徴とする処理装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記第 2 の構成の論理回路による前記圧縮処理が終了すると、前記撮像装置が前記画像データを前記記憶部に記憶せずに前記論理回路が前記圧縮された画像データを前記記憶部に記憶するように、前記論理回路の構成を前記第 2 の構成から前記圧縮画像データの記憶処理のための第 3 の構成に変えることを特徴とする請求項 1 に記載の処理装置。

【請求項 3】

前記制御部は、前記処理装置が前記撮像装置に装着されると、前記論理回路の構成を、前記撮像装置を認識するための所定の構成に変更し、前記撮像装置より撮影の指示がある

と、前記論理回路の構成を前記所定の構成から前記第 1 の構成に変更することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の処理装置。

【請求項 4】

前記所定の構成の前記論理回路が、前記撮像装置が供給する電力が低いことを検出した場合、前記撮影の指示があると、前記制御部は、前記撮像装置が前記画像データを前記記憶部に書き込むように、前記論理回路の構成を前記撮像装置が前記画像データを前記記憶部に記憶するための第 4 の構成に変えることを特徴とする請求項 3 に記載の処理装置。

【請求項 5】

前記制御部は、前記 R A W 画像処理が終了すると、前記 R A W 画像処理の終了を前記撮像装置に知らせ、前記圧縮処理が終了すると、前記圧縮処理の終了を前記撮像装置に知らせることを特徴とする処理装置 1 から 4 の何れか 1 項に記載の処理装置。

【請求項 6】

撮像装置に装着される処理装置であって、

前記撮像装置で行われる複数の処理に対応した機能を実現するための複数の構成に変更可能な論理回路と、

前記論理回路が実現可能な構成を示す構成情報を記憶するメモリと、

前記撮像装置で取得された画像データを記憶する記憶部と、

前記メモリに記憶された構成情報に基づいて、前記撮像装置が前記複数の処理を行わずに前記論理回路が前記複数の処理を実行するように前記論理回路の構成を変える制御部とを備え、

前記制御部は、前記撮像装置が画像データに対して第 1 の処理を行わずに前記論理回路が前記第 1 の処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第 1 の処理のための第 1 の構成に変え、前記第 1 の構成の論理回路による前記第 1 の処理が終了すると、前記撮像装置が第 2 の処理を行わずに前記論理回路が前記第 1 の処理が施された画像データに対して第 2 の処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第 1 の構成から前記第 2 の処理のための第 2 の構成に変えることを特徴とする処理装置。

【請求項 7】

前記複数の処理は、少なくとも前記画像データを圧縮する処理と前記記憶部に対して前記圧縮された画像データを記憶する処理を含むことを特徴とする請求項 6 に記載の処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】処理装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するために、撮像装置に装着される本発明の処理装置は、前記撮像装置で行われる複数の処理に対応した機能を実現するための複数の構成に変更可能な論理回路と、前記論理回路が実現可能な構成を示す構成情報を記憶するメモリと、前記撮像装置で取得された画像データを記憶する記憶部と、前記メモリに記憶された構成情報に基づいて、前記撮像装置が前記複数の処理を実行せずに前記論理回路が前記複数の処理を実行するように前記論理回路の構成を変える制御部とを備え、前記制御部は、前記撮像装置が R A W 画像処理を行わずに前記論理回路が前記 R A W 画像処理を行うように、前記論理回路の構成を前記 R A W 画像処理のための第 1 の構成に変え、前記第 1 の構成の論理回路による

前記RAW画像処理が終了すると、前記撮像装置が圧縮処理を行わずに前記論理回路が前記RAW画像処理された画像データの圧縮処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第1の構成から前記圧縮処理のための第2の構成に変える。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、別の構成によれば、撮像装置に装着される本発明の処理装置は、前記撮像装置で行われる複数の処理に対応した機能を実現するための複数の構成に変更可能な論理回路と、前記論理回路が実現可能な構成を示す構成情報を記憶するメモリと、前記撮像装置で取得された画像データを記憶する記憶部と、前記メモリに記憶された構成情報に基づいて、前記撮像装置が前記複数の処理を行わずに前記論理回路が前記複数の処理を実行するように前記論理回路の構成を変える制御部とを備え、前記制御部は、前記撮像装置が画像データに対して第1の処理を行わずに前記論理回路が前記第1の処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第1の処理のための第1の構成に変え、前記第1の構成の論理回路による前記第1の処理が終了すると、前記撮像装置が第2の処理を行わずに前記論理回路が前記第1の処理が施された画像データに対して第2の処理を行うように、前記論理回路の構成を前記第1の構成から前記第2の処理のための第2の構成に変える。